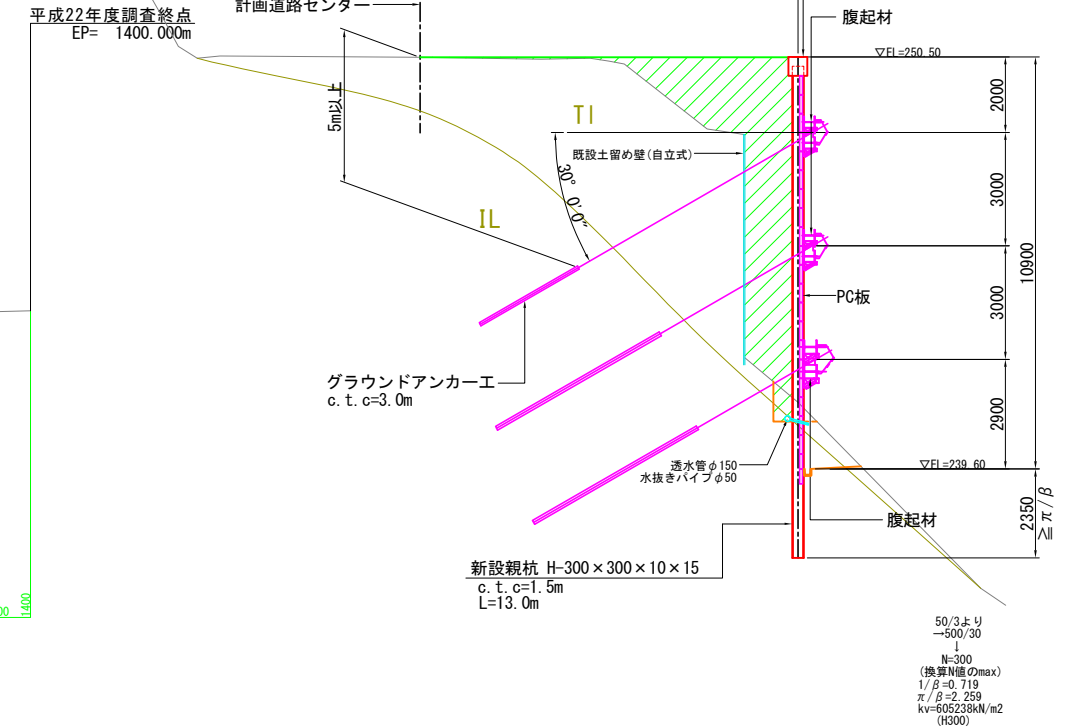
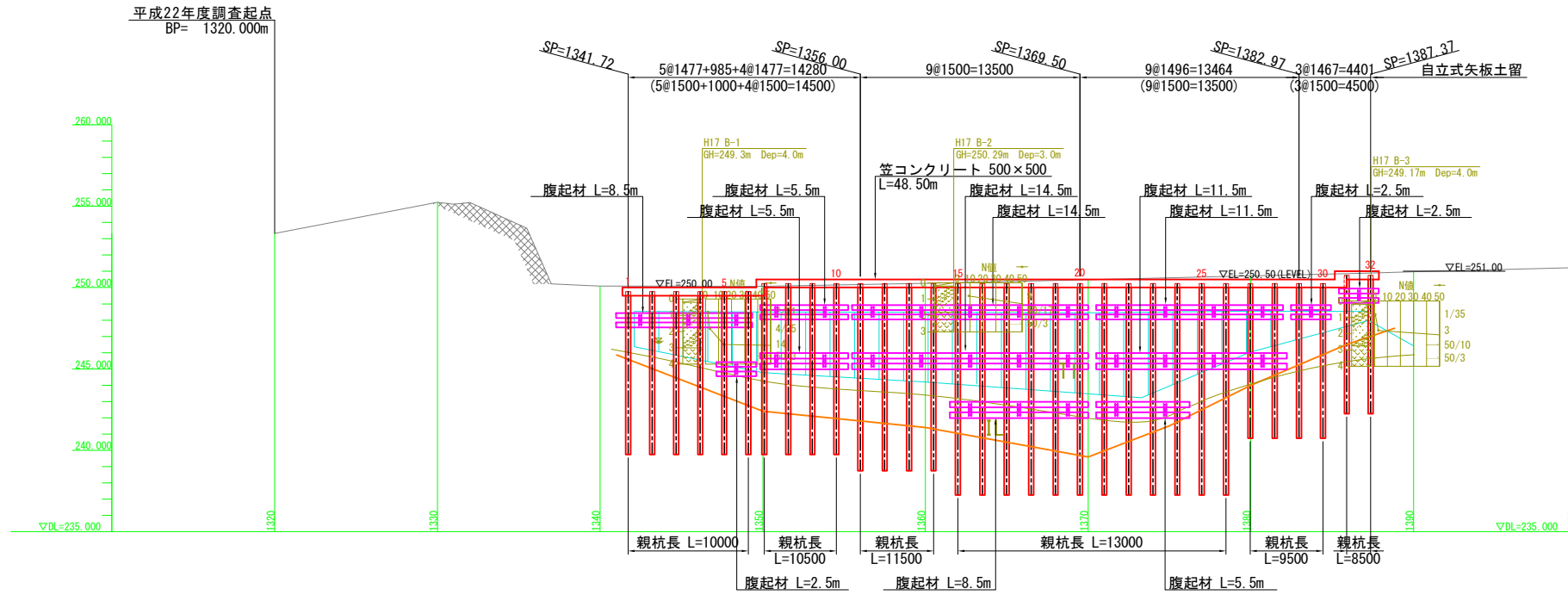


凡例			
時代	地層名	記号	記号
第四紀	沖積世	T1	礫混り火山灰質土砂からなる
	洪積世	IL	硬質な安山岩主体 換算N値270程度

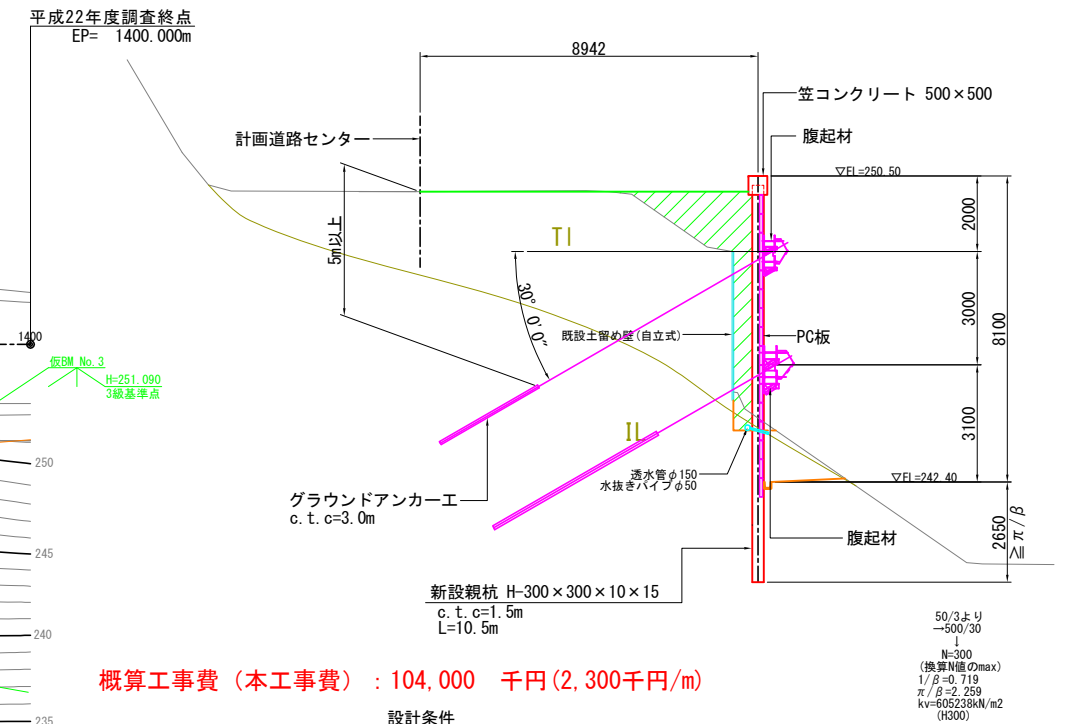
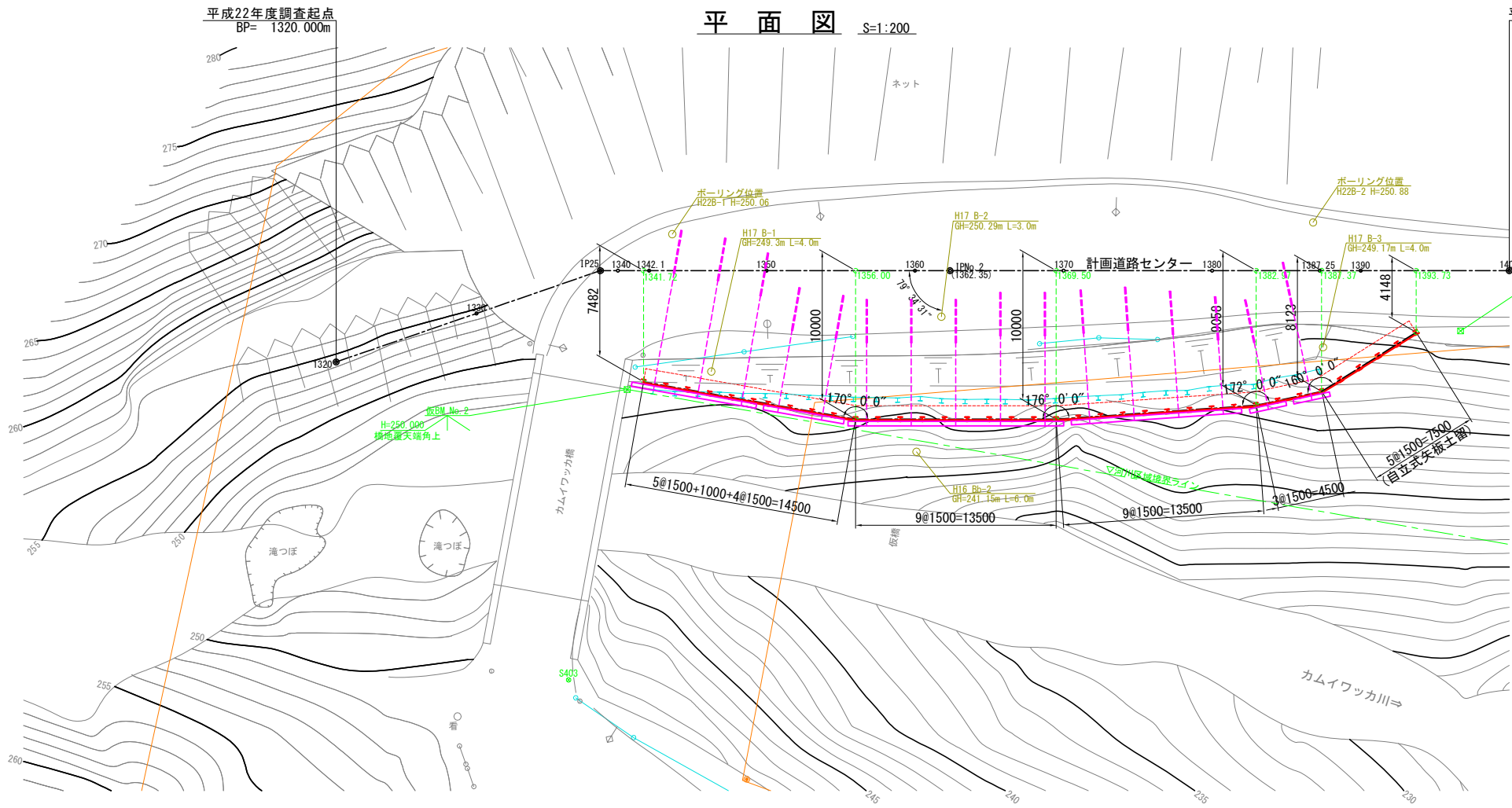
# アンカー付山留式擁壁工一般図 (現況復旧・天端嵩上案)

## 標準断面図 S=1:100

## 側面図 S=1:200



## 平面図 S=1:200



概算工事費 (本工事費) : 104,000 千円 (2,300千円/m)

設計条件	
擁壁構造形式	アンカー付山留め式擁壁
基本条件	土留め壁中心間隔1.50m、最小掘入れ: π/β 及び 1.50m (仮設親杭専用)
地表面の上載荷重	q=10kN/m <sup>2</sup>
土留め壁の許容応力度 (地震時1.5倍)	曲げ: σ <sub>sa</sub> =140N/mm <sup>2</sup> , せん断: τ <sub>a</sub> =80N/mm <sup>2</sup>
アンカー鋼材の許容引張力 (内地震時)	極限状態: 0.60T <sub>us</sub> (0.80T <sub>us</sub> ), 降伏状態: 0.75T <sub>ys</sub> (0.90T <sub>ys</sub> )
グラウトの許容付着応力度	σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup> , τ <sub>a</sub> =0.8N/mm <sup>2</sup>
アンカーの定着層極限せん断強度	1000kN/m <sup>2</sup> (軟岩)
アンカーの極限引張力に対する安全率	f <sub>s</sub> =2.5
盛土材料	γ=19kN/m <sup>3</sup> , φ=30°
置換厚	90cm (斜里町, 知床公園内)
積雪荷重	q=6.3kN/m <sup>2</sup> (積雪深1.8m x 3.5kN/m <sup>3</sup> )

工事名	知床公園 (地特125) 交安工事 (構造物設計) その2
図面名	アンカー付山留め式擁壁工一般図 (現況復旧・天端嵩上案)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号
会社名	北海道土木設計株式会社
事業者名	北海道網走建設管理部